

## 令和5年度第1回山口警察署協議会会議録

開催日時		令和5年6月29日（木） 午後3時35分から午後5時までの間
開催場所		山口警察署4階 講堂
出席者	委員	石津委員、青木委員、山本委員、磯村委員、高橋委員、春永委員、藤井委員、真庭委員、板垣委員、佐伯委員、吉本委員、福田委員、上原委員、岡委員 計14名
	警察署	署長、副署長、生活安全課長、地域課長、刑事第一課長、刑事第二課長、交通課長、警備課長、警察安全相談課長 計9名
議題		<p>1 所管業務の推進状況</p> <p>2 警察における経済安全保障に関する取組の推進</p>
<p><b>1 会長挨拶</b></p> <p>令和5年度第1回山口警察署協議会を開催するに当たり、一言ご挨拶申し上げます。山口警察署の方々には、平素より管内の治安維持のためご尽力いただいていることに、感謝を申し上げます。</p> <p>協議会委員は警察署長に意見を述べる立場にあるので、使命感を持って、委員全員で協力して会議を盛り上げていきたいと考えている。</p> <p>昨年、山口署管内では、交通死亡事故ゼロの日が続いており、これが1日でも長く続いて欲しいと願っていたが、5月に徳地で、6月には大内で交通死亡事故が発生し、2名の方が亡くなられた。</p> <p>これを受け、どうすれば事故を防げるのか、どうすれば身を守れるのか、危険な場所はどこかなど、家庭や職場でもっと話さなければならぬと感じた。</p> <p>さて、今回の諮問事項は、「警察における経済安全保障に関する取組の推進」であるが、県警察がこうした大きな課題にも取り組んでいることを知り、率直に警察の業務は大変だと感じた。後程、警備課長から説明があるが、まずはこの課題について理解を深め、委員の皆さんと協議する中で、何か警察を後押しできることはないか探っていきたいので、忌憚のない発言をお願いします。</p> <p><b>2 署長挨拶</b> (省略)</p> <p><b>3 所管業務の推進状況（署長）</b></p> <p>山口警察署の構成と各課の業務内容等について説明を行った後、令和5年1月から5月末までにおける業務推進状況について、以下の項目に沿って説明した。</p> <p>(1) 相談の受理状況</p> <p>ア 受理件数</p>		

- イ 受理内容の内訳
- (2) 犯罪抑止対策等の推進状況
  - ア 刑法犯認知件数
  - イ ストーカー・DV事案の取扱状況
  - ウ 児童虐待の通告状況
  - エ 少年の検挙・補導状況
- (3) 地域警察活動の推進状況
  - ア 110番の受理・出動件数等
  - イ 事案別110番の受理状況
- (4) 重要犯罪等の認知・検挙状況
  - ア 重要犯罪の認知・検挙状況
  - イ 重要窃盗犯の認知・検挙状況
  - ウ うそ電話詐欺等の認知・検挙状況
- (5) 交通事故抑止対策
  - ア 交通事故発生状況
  - イ 県内で発生した死亡事故の特徴
  - ウ 山口署管内で発生した死亡事故
- (6) その他の取組
  - ア 各種イベントにおける広報啓発活動
  - イ G7広島サミットへの派遣
  - ウ 女性警察官対象の術科訓練
  - エ 春の交通安全運動出発式
  - オ レノファ山口との包括連携協定の締結
  - カ 警察官・警察職員の募集活動

#### 4 所管業務に関する質疑等

##### (委員)

女性警察官を対象とした逮捕術訓練の紹介があり、非常に頼もしく感じた。警察官はここぞという時に拳銃を撃たなければならないと思うが、警察官の射撃訓練の実情について教えて欲しい。

##### (副署長)

担当業務等により訓練に若干の違いがある。最低でも年に1回行う者と2年に1回行う者がおり、内容としては、実際に射撃を行う訓練と、過去にあった事例等を想定して映像を見ながら拳銃の使用判断を行う訓練がある。

ご指摘のように、撃つべき場面で適正に拳銃を使用するということが重要であるので、そのための訓練に力を入れている。

警察署でも訓練用の映像を見ることができるので、当署では、朝礼後に映像を見ながら使用判断を行う訓練に取り組んでいる。

##### (委員)

警察官自身の身を守ることも大事であるが、それと同時に瞬時の判断で市民の命を守ることも大事だと思うので、今後もしっかり訓練していただきたい。

##### (委員)

相談業務について、昨年同期に比べて山口署の受理件数が増加しているが、具体的な原因があるのか。

**(副署長)**

警察署単体では、分母が小さく分析が難しい面もあるが、コロナ禍の巣ごもり需要に関連して、サイバー関係の相談件数が増加しており、県全体でも同じような傾向にあると見ている。

また、見慣れない人や車を見かけても気にしなかった方が、「もしかすると闇バイトで悪いことをしているのでは」などと不安にかられ相談されるケースも増加しており、相談件数を押し上げている原因の一つと考えている。

**(委員)**

阿東幹部交番について、急用などで立ち寄っても留守の場合があるので、何か対策はないだろうか。

**(署長)**

大変貴重なご意見で、ありがたく思う。

阿東幹部交番では、パトカーで通常の警ら活動を行いながら、事件・事故への対応等も行っており、不在となることもある。

当署としては、可能な限り交番に警察官を配置し、市民の皆様にご不便をおかけすることがないように努力しているところである。

今後も、ご意見等があれば遠慮なくお願いする。

**5 諮問事項説明（警備課長）**

- (1) 経済安全保障のための施策
- (2) 日本の現状
- (3) 技術流出のパターン
- (4) 警察の取組
  - ア 取締り
  - イ アウトリーチ活動

**6 協議・検討**

**(委員)**

大学の研究室には外国人留学生も在籍しており、自国で役に立つ研究に一生懸命取り組んでいる。そうした学生との関係を考えると、大学が教育機関である限り、疑いの目を向けるようなことはできないというのが現状である。

国の安全と利益を守らなければならないことは理解できるが、一方で、研究者同士が自由に情報交換を行うことで技術が発展してきたという経緯もあり、そこにジレンマがある。

**(委員)**

研究者や留学生の話聞き、そうしたことも経済安全保障と関わりがあることに気づくと同時に、身近な問題であると感じた。

**(委員)**

過去に、山口県内で技術や情報が国外に流出した事案はあるのか。

**(警備課長)**

現在のところ、県内において技術流出に係る事件検挙はないものの、流出事案が発生している可能性は否定できない。

これに関し、警察ではアウトリーチ活動を通じて情報流出の未然防止を図ろうと考えている。

**(委員)**

昔の話であるが、ある研究者が品種改良に挑み新しい品種を開発したものの、最終審査で採用されず、埋もれることになった。その後、外国の研究者がこの品種を持ち帰って栽培し、今では、日本の国土を超えるほどの面積で栽培を行っているとのことである。

国の利益という点で考えれば大きな損失であるが、研究者の想いとしては、せっかく作った品種が世に出ず、埋もれてお蔵入りするよりは、外国であっても多くの人に役立ててもらった方が嬉しいという考え方もあると思う。

**(委員)**

青年会議所に集まる中小企業の経営者の方々に対し、警察における経済安全保障の推進の重要性等について知ってもらうことがアウトリーチ活動につながるのではないかと思う。

警備課長から、商工会議所で講演を行ったとの説明があったが、講演の実績ほどのくらいあるのか。

**(警備課長)**

アウトリーチ活動というのは、この2～3年の話である。

コロナ禍の影響もあり、ほとんどできていないのが実情である。

今後、大学や企業、商工会議所など、いろいろな所に働きかけ、活動を進めていきたいと考えている。

**(委員)**

警察に講演を依頼する場合、費用は掛からないと思うが、企業の担当者が上司に講演の話をする際、一枚ものの企画書等があれば説明しやすいと思う。

警察では、そのような資料は用意していないだろうか。

**(警備課長)**

現時点、資料は用意してないが、検討させていただく。

**(委員)**

商工会議所には、現在、市内約3,000の中小企業が所属しており、毎月1回、機関紙を作成し配布している。

今回の諮問事項について、各企業向けに講演依頼の募集広告を折り込んだり、機関紙の中に記事を投稿することは可能であるので、必要があれば協力させていただきたい。

なお、技術を保有している企業であれば、その企業単体でも講演依頼の話が来るのではないかと思う。

**(警備課長)**

ご提言に感謝申し上げます。

**7 配付資料**

- 令和5年度第1回山口警察署協議会資料
- 諮問事項資料「警察における経済安全保障に関する取組の推進」
- 交通関係のパンフレット

**8 その他**

次回会議は、令和5年10月に開催予定とした。

